

No.123

とよころ 議会だより

6月
定例会

按田町政2期目初の定例会 今後の重要施策について問う

6月定例会あらまし

令和7年第2回定例会
は、6月3日に開会しまし
た。

1日目は、補正予算や条
例改正、豊頃町副町長の選
任など11件の議案審議等を行
い、いずれも原案どおり
可決、同意しました。

2日目は、一般質問ほか
議員発議2件と意見書5件
を可決するなどし、閉会し
ました。

まずは、一般質問のよう
すからお伝えします。

今回は、2名の議員が登
壇し、町政2期目の政策に
ついてそれぞれの切り口で
質問しました。

一般質問

Q 物価高騰 助成金の見直しは

A 情勢を踏まえ柔軟に対応する

助成金の見直しは

町長は子育て世代の経
済負担軽減を公約に掲げて
います。

町では、高校通学や小中
学校の修学旅行などに対し
助成していますが、現在の
物価高騰の状況を踏まえる
と、助成金の見直しは喫緊
の課題だと思っています。

今後の具体的な対応につ
いて伺います。

按田町長 昨今の物価
高騰が町民の生活に大きく
影響していることは、私も
強く実感しています。ま



おがさわら げんき
小笠原 玄記 議員

それぞれ根拠をもって助成金の
額を算出していますが、社会情勢
を踏まえて柔軟に対応する必要が
あると感じています。

財源は限られていますので、ど
のように配分するか協議し、より
よい支援ができるよう執り進めて
まいります。

高校就学助成金について伺い
ます。これは最寄りの高校までの
JR通学定期代（豊頃駅～池田
駅）が算定の根拠だと思います。
当初、月額5,000円からはじ
まり、現在は月額7,000円を
助成しています。

今年4月にJR運賃が改正さ
れ、ひと月の通学定期代は8,6
90円に値上がりしました。

高校就学助成金を見直す必要が
あるのではありませんか。

町長 高校就学助成金の算出
根拠は、最寄りの高校までの通学
定期代ですが、保護者負担をでき
る限り軽減することを第一に考
え、帯広市内や道外の高校へ進学
した生徒の保護者に対しても助成
しています。

7,000円の助成について、
今のところ保護者から増額してほ
しいという意見は聞いておりませ

ん。そういった声があれば、子育
て支援策全体として対応を検討す
る必要があると考えています。

帯広市内の高校へ進学した場
合、下宿する生徒も相当数おり、
下宿費用に対する保護者負担は相
当なものだと思います。

北海道では、高校がなくなった
自治体に住む保護者に対し、時限
的な措置ですが通学費や下宿費を
補助する制度があります。

町で下宿費を助成する考えはあ
りますか。

町長 さまざまな実情から下
宿を選択する家庭もあると思いま
すが、町の財源の問題や全体的な
均衡を考えると、個別に対応する
ことは非常に難しいと考えます。

産業振興について

農林水産業や商工建設業など
我が町の基幹産業について、第三
者継承を含めた担い手対策が必要
だと考えます。

近隣自治体では、地域おこし協
力隊を活用した担い手、後継者確
保を行う例も増えています。

このことについて、本町の考え

を伺います。

町長 総務省の調査による
と、地域おこし協力隊の任期満了
後に定住した隊員のうち、約15
パーセントが一次産業に従事して
います。地域おこし協力隊にとつ
て、一次産業が職業の選択肢にな
り得ると考えます。

これまで地域おこし協力隊の募
集に関しては、飲食業や小売業の
新規起業希望者や観光振興のため
の人材などを中心に募集していま
したが、今後は、一次産業の担い
手も視野に入れて募集したいと思
います。

各産業団体と事業承継について
情報連携を密にしながら、地域お
こし協力隊の募集を進めたいと思
います。

産業誘致について伺います。
空き地や遊休施設を活用した産業
誘致の考えはありますか。

町長 持続的な雇用創出や地
域経済の活性化を図るため、地域
住民や各産業団体、自然環境への
影響を十分に検証した上で、空き
地・空き家を活用した産業誘致な
どあらゆる可能性に積極的に取り
組んで参りたいと考えています。

茂岩地区商店街の 再構築は

消防庁舎移設も含め、茂岩地
区商店街の再構築は、町長2期目
の肝になると考えます。

町長 商店街の衰退は、町民
生活への影響や町の存続にとって
重要な課題と考えています。

空き店舗や後継者問題などの課
題を整理し、地域のニーズや特性
を踏まえた考え方をとりまとめ、
商工会と連携し、地域資源を活用
したコンパクトな商店街の再生に
取り組む考えです。

茂岩地区の公共施設の利活用
の評価と今後について伺います。



まちなか活性化拠点施設
「ココロコテラス」

【A】町長 地域経済の活性化や観光振興を目的に、まちなか活性化施設「ココロテラス」を整備しています。

「ココロテラス」では、ふるさと納税、（※）互産互生事業、店舗販売、宿泊事業などを展開しています。来客数や販売数は年々増えており、一定程度経済効果があるものと感じています。

茂呂地区商店街の再構築に向けた構想の中で、今後の事業展開について精査したいと考えています。

【A】互産互生事業 地域同士が「お互い地域にないもの」を相互に交換するなかで新たな価値を創造しようとする取組のこと。

【A】「コンパクトな商店街」とは、新規の建物をなるべく建てずに現状の建物を活用するということです。

【A】町長 そのとおりです。ただし、住宅を兼ねた空き店舗が多いことから、役場庁舎・消防庁舎周辺の空き地の有効活用も視野に入れ考えます。

町長の広聴体制は

【Q】町長は、各種団体や行政関係者など幅広い意見や要望を聞く機会があると思いますが、現役世代や子育て世代への広聴機会が少なくないと感じます。

子育て世代の参加が多い「赤ちゃん広場」や「わんぱく広場」などで、広聴活動をする考えはありますか。

【A】町長 子育て世代の声を受け止めることは重要だと考えます。しかし、「赤ちゃん広場」や「わんぱく広場」は、子育て中の保護者が育児に関する相談や交流を行う場所ですから、私が出向くことにより緊張や遠慮を与えてしまうおそれがあります。したがって、やり方についてはしっかりと考えて対応したいと思っています。

【Q】一般町民向けの町政懇談会の開催についての考えは。

【A】町長 町民との対話の機会の重要性は理解しています。その一方、参加者が特定の人のみに限られていること、一定の日に集まってもらいた話を聞く方法では全体の声を

把握するのに限界があると考えています。

【A】町長 「暮らしの中で声を聴く」姿勢を大切に、対話の中で困りごとを聞くことを心がけています。



わんぱく広場のようす

【Q】広聴活動でホームページなどを活用する考えはありますか。

【A】町長 ホームページなどの活用もひとつの方法だと考えます。ただし、誹謗中傷などもあることから、慎重に検討した上で、今後進めていかなければならないと考えます。

地域自主防災組織について

【Q】自主防災組織の設立にあたり、今年度から開始した地域担当

Q 按田町政2期目の最重点項目は

【A】防災対策を中心に基幹産業を守る



おおさき ひでき 大崎 英樹 議員

按田町政2期目の最重点項目は

【Q】按田町政2期目において、最も重点をおく施策について伺います。

【A】町長 第5次豊頃町まちづくり総合計画に基づき、社会情勢の変化や町民のニーズに的確に対応しながら、人口減少社会における持続可能な行政運営を行う必要があると考えています。

その中で最も重点をおいているのは、「町民の安心安全、いのちを守る」ということです。1期目から継続して「防災・減

災対策」に取り組んでいますが、2期目ではかたちにすることを目標としています。

その上で基幹となる一次産業をしっかりと守ることが大切であると考えています。



大津地域津波緊急避難場所 避難路

人口減少問題への対策は

【Q】町政執行方針の中で、人口減少問題に触れていました。今後の具体的な取組について伺います。

【A】町長 人口減少問題は、我が町にとって喫緊の課題であると捉えています。

今年度は豊頃町まちづくり総合計画の中間見直しの年であることから、どのような施策が人口減少対策に有効なのかをしっかりと検証した上で、計画に盛り込む必要がありました。

人口を増やす施策というのは簡単なことではないと思います。様々な施策に取り組むことで、人口の減り幅を小さくすることは可能だと考えています。

年間に生まれる子どもの数は、実はそれほど変わっていません。転入する人をいかに増やすかということが重要だと考えます。

企業誘致について

【Q】企業を誘致することで、新たな雇用が生まれ、転入者を増やすことができるかと考えます。

企業誘致について、町長の考えを伺います。

【A】町長 やはり町民向けのアンケートなどでも、雇用や働く場所について意見をいただきます。企業誘致について、可能性があ

職員制度を活用することですが、どのような内容ですか。

【A】町長 自主防災組織とは、地域住民が自分たちの地域は自分たちで守ろうという考えのもと、自主的に結成する組織のことです。平時は防災知識の普及や訓練などを行い、災害時は情報伝達や避難誘導などを行います。

各行政区に配置した地域担当職員及び防災担当職員が、計画の作成などを補助し、組織設立を支援します。

また、組織設立後も防災資料の提供や避難訓練の実施などをサポートします。

地域の実情に柔軟に対応しつつ、町内全域での組織設立に向け、推進してまいります。

地域担当職員制度

町内会や地域の活動を支援するために、職員を行政区に配置し、地域へ情報提供を行い、地域が抱える問題を把握、解決するなど、地域コミュニティ活動の活性化を支援するしくみです。

A-1 先行投資地域指定について

【Q】北海道が国に要請しているA-1 先行投資地域指定について、本町の立地、環境、産業構造などの観点から町長はどのように考えているのか伺います。

【A】町長 現段階で具体的な内容が示されていないため、今すぐに手を挙げるといったことは考えていません。

また、A-1関連産業の進出については、道央圏がメインで進んでいる印象を持っています。再生可能エネルギーの電力を使うなど、道東地域での事業の可能性があれば、我が町においても対応したいと考えています。

A-1 先行投資地域指定

A-1 研究の拠点整備への財政支援やA-1データセンターの誘致など先行投資する地域を国が指定すること。

正算 消防庁舎改築工事設計など 補正 肉付け予算 4億5千万円を可決

令和7年度当初予算は、町長の改選期のため、骨格予算と呼ばれる継続事業を中心とした予算でした。改選後はじめて開かれた本定例会において、新規事業などを加えた肉付け予算が提案され、原案のとおり可決しました。

消防庁舎改築工事設計

建築から51年が経過した豊頃消防署庁舎について、改築を行うに当たり設計業務を委託します。

自治体DX関連予算

一般会計では、政府主導によるガバメントクラウドへの移行費用や「観光地電子地図作成業務」など、いわゆる自治体DX、デジタル技術を活用した行政サービス向上のための予算が計上されました。また、簡易水道事業会計においても、デジタル技術を活用した水道スマートメーターシステム導入について予算計上されました。

		補正額	予算総額
一般会計	第1号	3億8,612万円	59億 312万円
介護保険	第1号	139万円	4億 881万円
医療施設	第1号	910万円	8,921万円
		補正額	予算総額
簡易水道	第1号 (収益的支出)	5,300万円	3億 2,177万円

※1万円未満は四捨五入しています。

各会計の 補正額

補正予算の主なもの

消防庁舎改築工事設計 委託業務

3,419万円

建築から51年が経過した豊頃消防署庁舎について、耐震性強化のために改築するため、令和8年度末までを期限として消防庁舎改築設計業務を委託します。（補正の額は令和7年度分です）



豊頃消防署庁舎の外観

ガバメントクラウド システム移行改修

6,936万円

自治体の基幹業務システムを政府共通のクラウドサービスへ移行するための経費。

（簡易水道事業会計） 水道スマートメーター システム導入事業

5,300万円

無線通信による自動検針のほか、水道使用者は使用量や料金をスマートフォンなどで確認できるようになります。令和8年4月から運用開始予定です。



水道スマートメーター
※写真は試験運用中のもの

観光地電子地図作成業務

362万円

町内の観光やグルメなどの情報を掲載したデジタルイラストマップを作成します。
観光地などに設置した二次元コードをスマートフォンなどで読み取ることで、デジタルイラストマップを閲覧できます。

施策・事業紹介デジタル ブック作成業務

12万円

令和2年発行の子育てや福祉など各種事業を紹介した冊子「とよころ取扱説明書」について、内容を更新し、デジタル冊子で発行します。



令和2年に冊子で発行した
とよころ取扱説明書

森林計測管理用ドローン購入

485万円

効率的な森林の計測管理のため、レーザードローンを導入します。あわせて、赤外線サーマルカメラも導入し、林野火災や有害鳥獣対策などにも活用する予定です。

農地利用効率化等 支援交付金

1,965万円

地域の中核となる農業者に対し、農地引受力の向上に必要な農業用機械などの導入を支援します。交付を受けるにあたっては、目標年度までに経営面積を拡大するなど一定の成果目標の達成が求められます。

くらしのお助けサポート 事業補助金

20万円

日常生活でちょっとした困りごとを抱えている高齢者等を対象とした有償ボランティア事業に対し補助します。事業の実施主体は豊頃町社会福祉協議会です。

（医療施設特別会計） 豊頃町歯科診療所 X線撮影装置購入

910万円

適切な診断体制を維持するため、歯科診療所のX線撮影装置を更新します。
※1万円未満は四捨五入しています。

機構改革を実施 町長部局は6課から5課へ

副町長に山田前議会事務局長を選任同意

町長から提案された議案について、それぞれ原案どおり可決しました。

条例改正、制定

▼豊頃町課設置条例の一部改正について

職員の年齢構成の若年化に対応し、事務事業の効率化、即応性向上を図るため、町長部局を現行の6課から5課体制へ変更します。企画課を廃止し、総務課は総務政策課へと名称が変わります。また、課の再編に伴い、各課の分掌事務に関する規定についても一部改正するものです。

▼豊頃町課設置条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

豊頃町課設置条例の一部改正に伴い、課の名称が変わるため、関係する条例を一括して改正します。

人事案件

▼豊頃町副町長の選任について

前議会事務局長の山田 良則（やまだ よしのり）氏の選任について、出席議員全員の賛成により同意しました。

なお、任期は、令和11年6月19日までの4年間でです。

会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録しています。
町のホームページや町図書館で閲覧することができます。

問合せ先
議会事務局
☎574-2222
会議録のページは
こちらから



6月	3日	第2回定例会（1日目） 議員全員協議会 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 第2回定例会（2日目） （一般質問ほか）
5日	10日	議会広報特別委員会 北海道町村議会議長会 定期総会（札幌市）
7月	1日	議会広報特別委員会 とちろ広域消防事務組合 議会（帯広市）
8日	3日	北海道町村議会議長会 主催議員研修会（札幌市）
9日	9日	江別河川防災ステーション 行政視察（江別市） 総務文教常任委員会 所管事務調査
15日		

9月	9日	議会運営委員会 第3回定例会（1日目） （条例改正、補正予算など）
5日	11日	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 第3回定例会（2日目） （決算審査）
18日	29日	第3回定例会（3日目） （一般質問ほか） 議会広報特別委員会
9月	19日	議会広報特別委員会（札幌市） 産業厚生常任委員会 所管事務調査（作況調査） 十勝町村議会議長会主催 議長研修（新得町）
21日	19日	議会広報特別委員会（札幌市） 産業厚生常任委員会 所管事務調査（作況調査） 十勝町村議会議長会主催 議長研修（新得町）
29日		

議会日誌

◎今後の予定

契約関係

▼工事請負契約の締結について
次の3議案について提案され、いずれも可決しました。

- ・林業生産基盤整備道二宮線開設工事
- ・大津地域津波緊急避難場所避難路整備工事（地盤改良）
- ・湧洞地区配水管布設替工事（その1）

▼物品の取得について

町内の除雪体制強化のため、除雪専用車1台の取得について可決しました。

その他

▼繰越明許費繰越計算書の報告

令和6年度豊頃町一般会計予算において、翌年度に繰り越した繰越明許費について報告がありました。

※繰越明許費 年度内に支出が終わらない見込みのものを、翌年度に繰り越して使用すること

意見書

- ① ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- ② 国内農業を犠牲としないことを求める意見書
- ③ 地方財政の充実・強化に関する意見書
- ④ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ⑤ 2025年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

①、②、⑤は産業厚生常任委員会、③、④は総務文教常任委員会にて審議した意見書案が、岩井 明（い わい あきら）産業厚生常任委員長、大谷 友則（おおたに ともり）総務文教常任委員長からそれぞれ提案され、いずれも原案どおり可決し、関係省庁・機関に提案されました。



提案説明する岩井明委員長



提案説明する大谷友則委員長

令和7年第2回臨時会

（5月12日開催）

次の議案について全て可決、承認しました。

【条例改正】

▼豊頃町条例の一部改正
地方税法等の一部改正に伴い、本町条例の一部を改正するもの。主な改正内容は、特定親族特別控除の創設に伴う規定の整備などです。

▼豊頃町国民健康保険条例の一部改正
被保険者間の保険税負担の公平性確保のため課税限度額を引き上げ、中・低所得層の保険税負担の軽減のため軽減判定所得を改正します。

【補正予算】

▼専決処分の承認（令和6年度豊頃町一般会計補正予算（第10号））
地方譲与税等の額の確定や、道営農地整備事業負担金の精査など、歳入歳出それぞれ1億2,421万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ60億436万円とする専決処分を承認しました。

新しい議会広報特別委員について お知らせします

お知らせします

議会広報特別委員の改選により、本号から新しい議会広報特別委員会構成で議会だよりを編集しています。

わかりやすさを第一に、議論の過程をていねいにお伝えできるよう尽力して参ります。

今後もお読みいただき、町議会の活動に関心をお寄せいただけますと幸いです。



（写真左から順に）

大崎英樹委員長、藤田博規副委員長、
大谷友則委員、岩井明委員

2年間よろしくお願いいたします。

議会広報特別委員一同